



地域の人々が集めた石で造られたせせらぎ



地場産の杉で造られたベンチ



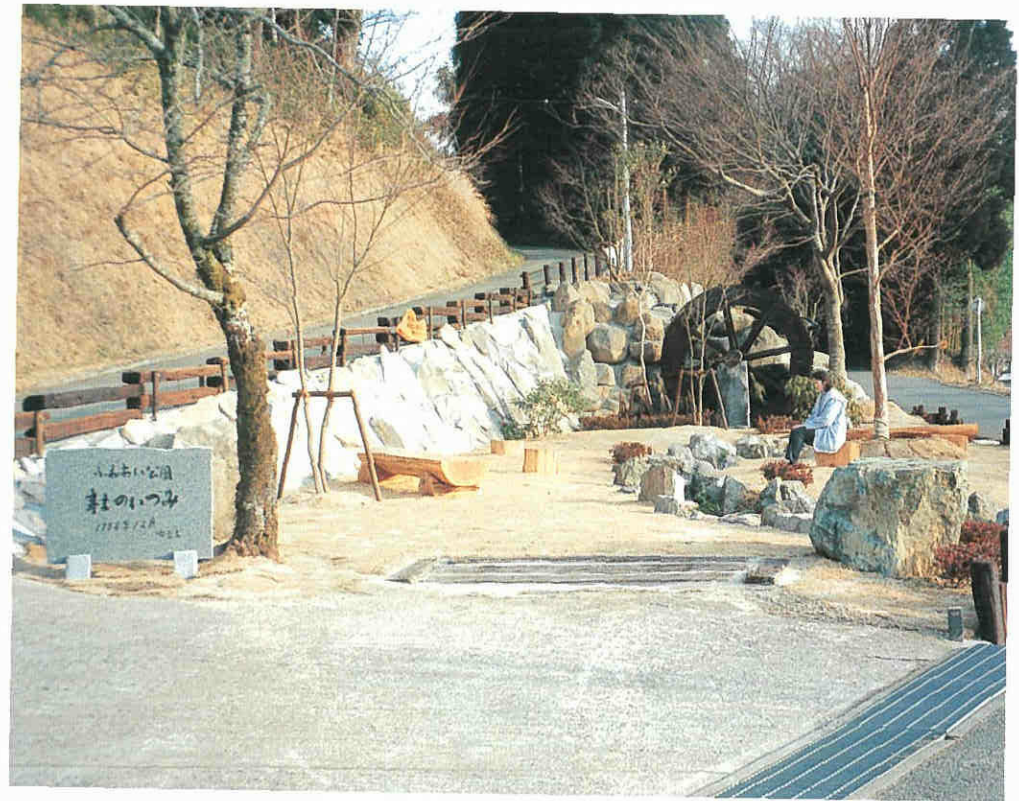
地元の大工職人が製作した水車

DATA・BOARD ③⑩

- ①熊本県上益城郡矢部町入佐
- ②面積：約400㎡
- ③九州自動車道御船ICから車で約50分、浜町(矢部町中心部)からバスで約10分・入佐下車
- ④重要文化財通潤橋、五老ヶ滝、鮎の瀬大橋



30 ふれあい公園 杜のいづみ



矢部町の入佐地区は、近くに五老ヶ滝川が流れており、地域住民によりホタルを育てる会が組織されホタルの孵化場がつけられるなど、水辺環境の保全活動が展開されている地域となっている。

「ふれあい公園杜のいづみ」は、地域住民の憩いの場、コミュニティづくりの場として整備されたもので、水をテーマに湧水を利用した水車や自然石を使った水路などを設けた親水公園として開設された。

整備にあたっては、地域に在住する大工職人が水車を製作したり、住民が水路づくりや植栽を行うなど、地域の人々によってつくられた、手づくりの公園である。

水車は、各地で使われているものを視察して構造を検討し、耐久性に優れた松や栗の木を素材に使用している。水路づくりに使われた石は周辺から集められたもので、ベンチは地場産の杉でつくられている。また、防護柵や階段には、鉄道で使われていた枕木を再利用している。

園内には、キンモクセイやモミジ、ツツジなどの樹木により潤いのある情景が創出されており、地域住民自らの手による公園づくりは、コミュニティの形成にもつながる機会となり、地域の人々に愛される場所になっている。